



Q3

大泣きしたり 動けなくなったりする子への支援は？

まずは
ここから



- 担任 1 人での対応が難しい場合は、支援チームを編成します。
- 心理学上の知見も利用して、より綿密に実態把握をします。
- 実態把握を踏まえた支援案を基に、実践→評価→修正を行います。

タツヤさん（保育園年少）への支援チームのかかわりを紹介します。

タツヤさんは不安に耐えることが難しいようです

- 先生の指示を理解できないことがある。
- 不安になると
 - ・きよろきよろする、固まってしまう…。
 - ・大声で泣く、動こうとしなくなる…。



友だちに優しい
タツヤさん

支援チームを作り、支援目標をたてる

- 「大声で泣きわめく」頻度を少なくしたい。

行動を継続的に記録し、行動の理由を探る

- 分からないこと、思い通りにならないことがあると何もできなくなるのかもしれない。
- 納得したことには一人で取り組めるかもしれない。

支援案を立てて実践

- ① 個別の声掛けをする。
- ② 指示は 1 回につき一つとする。
- ③ 指差しなどの手がかりを示す。

3 週間後に実践を評価

- ・大泣きは 3 週間に 2 回に減少する。
- ・大泣きからの立ち直りが早くなる。



【キーポイント】 本事例では行動療法の原理を応用しています（A B C行動分析）。このような心理学上の知見を利用した方法も有効です。盲・ろう・養護学校にはこのような対処方法の知見も蓄積されていますので、相談して参考にすることができます。

● A B C 行動分析の手法を取り入れた問題行動のアセスメントの実際

(A : 行動の起こる直前の状況, B : 行動, C : 行動の結果)

日時	間接的な状況	直前の状況 A	行動 B	結果 C
6/13 AM 10:30	身体測定	友だちが着替える間、フラフラと動き回り、洋服を着るのが遅くなる。友だちと保育士は先に教室から出てしまう。	大声で泣きながら部屋を出ていく。	数分間、着替えをしないている。
		洋服をひとまとめにして持ち、外に出てしばらく泣いていたが、保育士にゆっくり着替えておいでと個別に言われて、身体測定の場に戻った。	一人で着替えをして、一人で戻ってきた。	保育士に褒められた。
(考 察) 部屋に一人残され、どうしたらいいか分からなくなり、混乱し、大声で泣いて何もしないで済ませようとしたのだろう。保育士が「やることを分かりやすく、個別に指示したこと」が、落ち着いて行動することにつながったのかもしれない。				
6/15 PM 2:45	午睡から起きて服を着替える。	パーカー型Tシャツの背中中のマークを前と勘違いして、前後逆に着る。おかしいと思ったらしく、フードを横に引っ張るが、フードは横にこない。	前後反対に着たままで大泣きをする。	保育士がそばに来てどうしたのか聞く。
		保育士が「ちゃんと見ているから脱いでごらん」と言って服を脱がせ、洋服の形を見直し、納得してから着替えるようにする。	安心して、前後間違えずに着替える。	保育士に褒められた。
(考 察) 自分の思い通りにならなかったので大泣きをしたようだ。保育士と共に見直し、納得してからやり直したことが、落ち着いて一人で取り組むことにつながったようだ。				

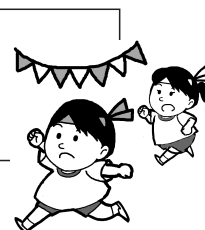
● 記録を取り始めて1週間後の総合的考察と、それを基にした支援案

<総合的考察>

- 大泣きしたり動かなくなったりするのは、(1)時間的な制約があり、保育士が強く指示した時、(2)二つ以上の指示が一度に出された時、(3)モデルがなく、やってみたら失敗してしまった時、のようだ。
- 一人で活動するのは、(1)指示や周囲の様子を理解するために、友だちの様子、保育士のモデルなどの視覚的な手掛かりがあるときのようだ。

<支援案>

- ① 全体への指示とともに、タツヤさんに個別の声掛けや確認をする。
- ② 指示は、できる限り1回に一つとする。
- ③ 指差し、手本などの視覚的な手掛かりを示す。



● 支援の実際と評価

<支援の実際>

- 運動会の練習では、「走るよ」「持ち上げるよ」などの指示を、個別に、一つずつ言うようにした(支援①②)。また、かけっこ、クラス競技などでは、友だちの見本を見てから取り組めるようにした(支援③)。すると、一人で行動できた。
- 「今日から箸を使って食べる」と伝えると「やだー」と言って大泣きをしたが、少し待って、泣き方が静かになったところで個別に声を掛け(支援①)、友だちと一緒に見て回る(支援③)と、納得して箸で食べ始めた。

<支援を始めて3週間後の評価>

- ・大泣きしたり動かなくなったりする頻度は、3週間で2回に減少した。
- ・困らずに安心して取り組むことが増えた。
- ・大泣きをした後では、気持ちを転換するような声掛けや分かりやすい指示が効果的のようだ。